

2006年度(07年3月期)決算概要

2007年5月21日

日本電気株式会社

(<http://www.nec.co.jp/ir/ja>)

＜将来予想に関する注意＞

本資料にはNECおよび連結子会社（以下NECと総称します。）の戦略、財務目標、技術、製品、サービス、業績等に関する将来予想に関する記述が含まれています。将来予想は、NECが証券取引所や米国証券取引委員会等の規制当局に提出する他の資料および株主向けの報告書その他の通知に記載されている場合があります。NECは、そのような開示を行う場合、将来予想に関するセーフハーバー（safe-harbor）規則を定めている1995年米国民事証券訴訟改革法（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）その他の適用法令に準拠しています。

これらの記述は、現在入手可能な仮定やデータ、方法に基づいていますが、そうした仮定やデータ、方法は必ずしも正しいとは限らず、NECは予想された結果を実現できない場合があります。また、これら将来予想に関する記述は、あくまでNECの分析や予想を記述したものであって、将来の業績を保証するものではありません。このため、これらの記述を過度に信頼することは控えるようお願いいたします。また、これらの記述はリスクや不確定な要因を含んでおり、様々な要因により実際の結果とは大きく異なりうることをあらかじめご承知願います。実際の結果に影響を与える要因には、(1) NECの事業領域を取り巻く国際経済・経済全般の情勢、(2) 市場におけるNECの製品、サービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力、(3) 激しい競争にさらされた市場においてNECが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供し続けていくことができる能力、(4) NECが中国等の海外市場において事業を拡大していく能力、(5) NECの事業活動に関する規制の変更や不透明さ、潜在的な法的責任、(6) 市場環境の変化に応じてNECが経営構造を改革し、事業経営を適応させていく能力、(7) 為替レート（特に米ドルと円との為替レート）の変動等があります。将来予想に関する記述は、あくまでも公表日現在における予想です。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、新たな情報、将来の事象その他にかかわらず、NECがこれら将来予想に関する記述を見直すとは限りません。

本資料に含まれる経営目標は、予測や将来の業績に関する経営陣の現在の推定を表すものではなく、NECが事業戦略を遂行することにより経営陣が達成しようと努める目標を表すものです。

本資料に含まれる記述は、証券の募集を構成するものではありません。いかなる国・地域においても、法律上証券の登録が必要となる場合は、証券の登録を行う場合または登録の免除を受ける場合を除き、証券の募集または売出しを行うことはできません。たとえば、米国において証券の公募が行われる場合には、1933年米国証券法に基づく証券の登録が行われ、NECおよび経営陣に関する詳細な情報ならびに財務諸表が掲載された英文目論見書をもって公募を行うこととなります。

(注)
当社は連結財務諸表作成に関する会計基準を「米国会計基準」から「日本会計基準」に変更しております。

I .06年度(07.3期)実績

06年度実績概要

(単位:億円)

	05年度	06年度	前年度比
売上高	49,300	46,526	- 5.6%
営業利益 (売上高比)	725 (1.5%)	700 (1.5%)	-26
経常利益	150	163	+14
当期純損益 (売上高比)	-101 (-0.2%)	91 (0.2%)	+192
1株当り純損益(円)	-5.26	4.43	+9.69

2006年度のポイント

<成果>

- NGN関連ビジネスの取り組み強化
 - ・ NGN先行商談でのポジション確立
 - ・ 特色ある新製品・技術の投入
- モバイルターミナル事業が下期ブレイクイーブンまで改善

<課題>

- 半導体事業の回復遅れ
- IT/NWソリューション事業の成長スピード

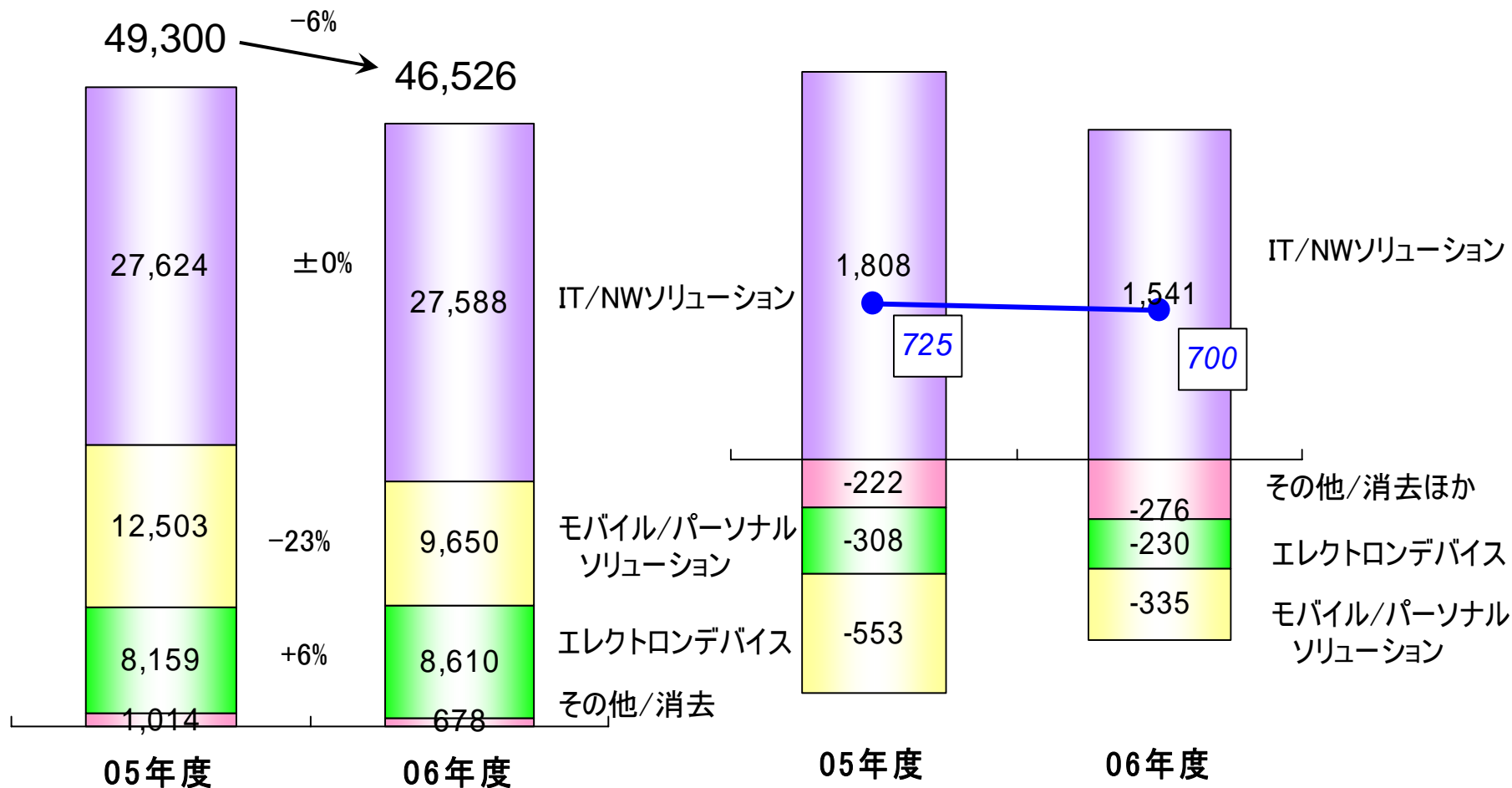
06年度セグメント別実績

売上高

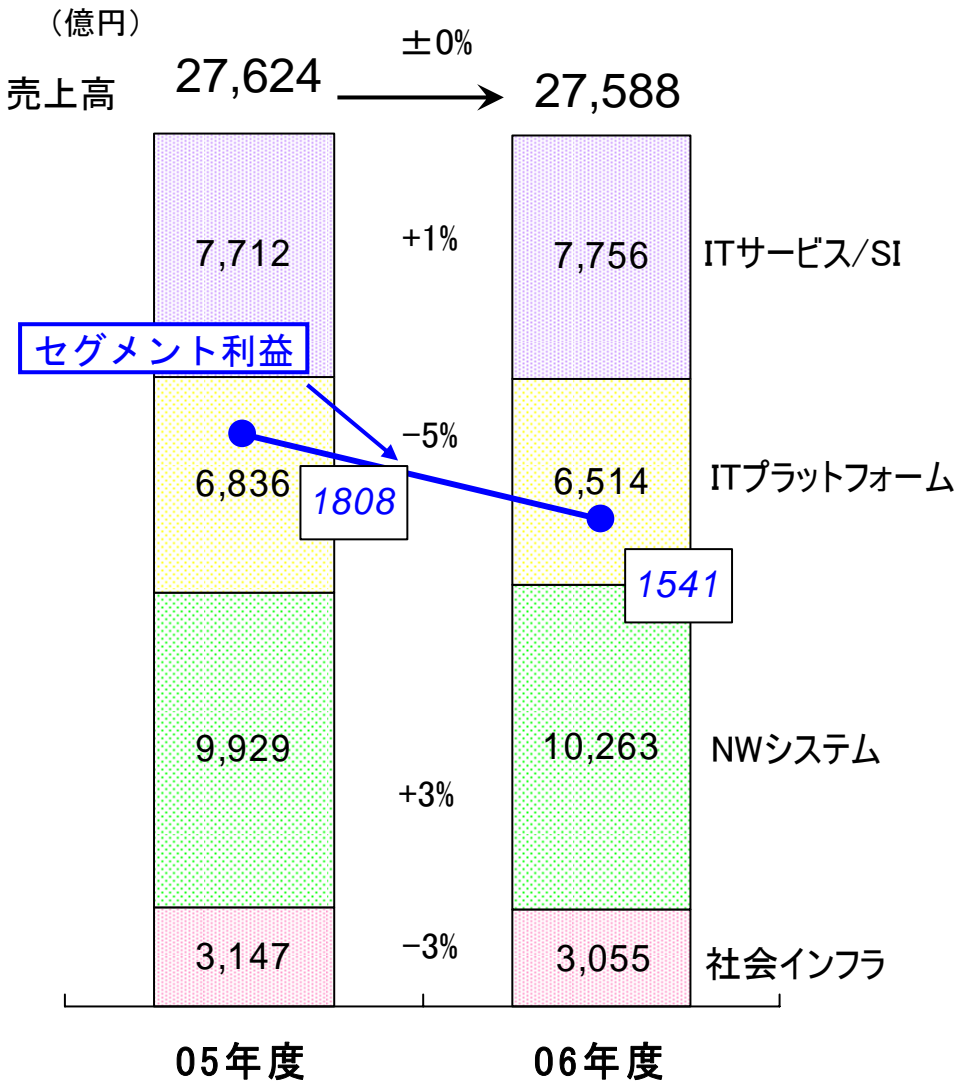
(億円)

営業損益

(億円)



06年度IT/NWソリューション事業



■ITサービス/SI

- ・通信キャリア向けサービスプラットフォーム、流通業、官庁、金融など堅調。

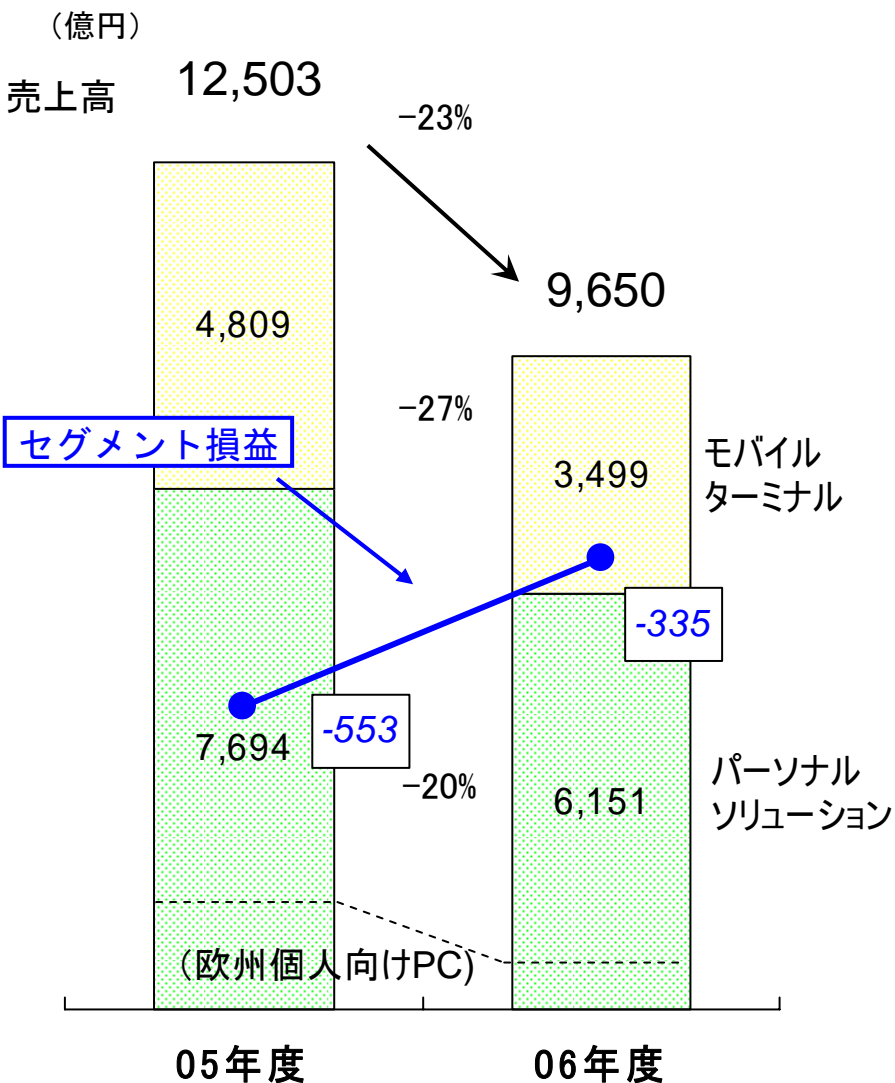
■ITプラットフォーム

- ・DVDドライブの減少などを受け減収。
- ・原価低減で黒字確保

■NWシステム

- ・海外パソリンクは前年比約15%伸長し、成長を牽引
- ・国内基地局投資はMNP開始後もつながり易さ改善投資が継続

06年度モバイル/パーソナルソリューション事業



■モバイルターミナル

- ・下期ブレークイーブンに回復
～通常オペレーションでは黒字化
- ・海外事業はリストラ完遂
- ・国内向け端末の商品力強化



11.4mmの薄さで高性能を実現したN703i μ

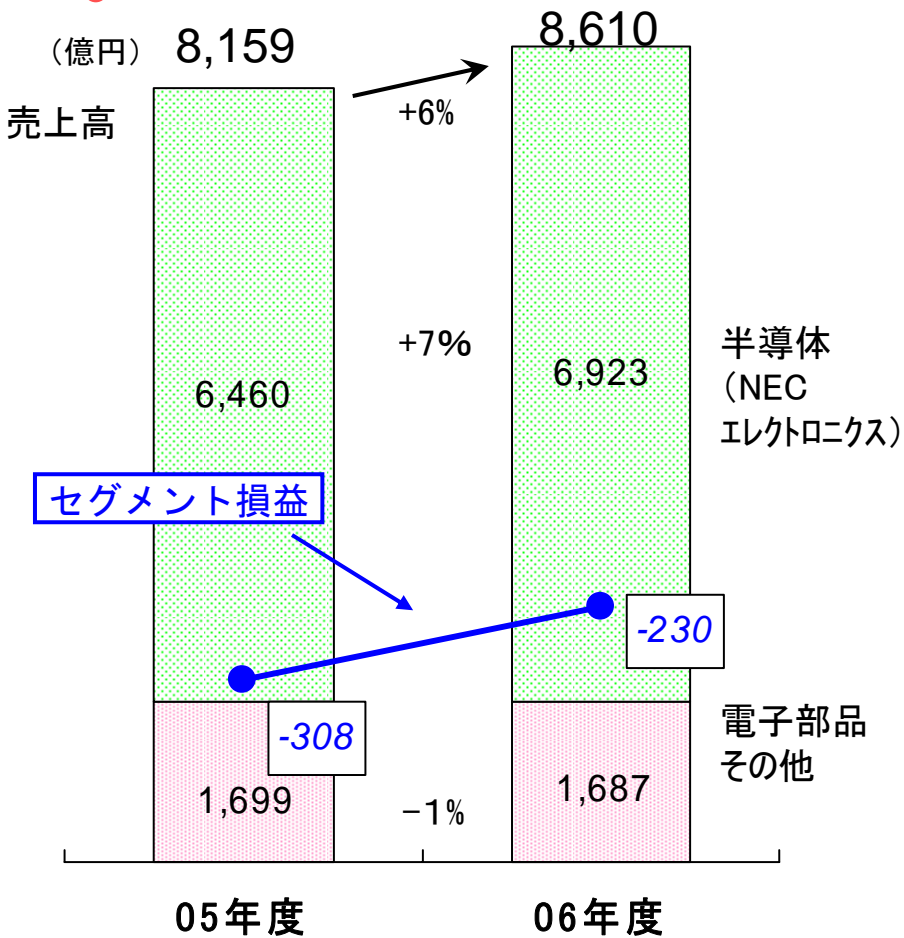
高精細、さくさく感が特長のN903i



■パーソナルソリューション

- ・欧州個人向けPC事業の売却や国内PC市場の伸び悩みで減収
- ・原価低減により黒字確保

06年度エレクトロニクス事業



■ 半導体

- ・前年度比71億円の損失改善も赤字残る
- ・生産固定費増、研究開発増強による費用増
- ・体質改善費用の計上

■ 電子部品その他

- ・プロードライザを始めとする新製品の立ち上げにより、電子部品の売上が拡大

(億円)	06/3 年間	07/3 年間
半導体営業損益 (NECエレクトロニクス)	-357	-286

※注 半導体分野の業績は、NECエレクトロニクス(株)が米国会計基準に準拠した財務諸表を公表しているため、NECエレクトロニクスの公表値(米国会計基準)で表記しています。日本会計基準への修正による差異は、電子部品その他分野に含まれています。

Ⅱ.07年度(08.3期)業績予想

2007年度予想概要

(単位:億円)

	06年度	07年度 予想	前年度比	07年度 上期予想
売上高	46,526	47,000	+ 1%	21,500
営業利益 (売上高比)	700 (1.5%)	1,300 (2.8%)	+600	150 (0.7%)
経常損益	163	800	+637	-100
当期純損益 (売上高比)	91 (0.2%)	300 (0.6%)	+209	-220 (-1.0%)

* 業績予想は07年5月21日現在

07年度の重点課題

■ 成長への取り組み強化

- ・NGN戦略の着実な実行
- ・グローバルな成長

⇒ 戦略費用投入による新市場創造

■ 課題事業の更なる改善

- ・モバイルターミナル事業の黒字化の定着
- ・最大株主として、NECエレクトロニクスの

今期黒字化をサポート

■ 収益力の徹底的な強化

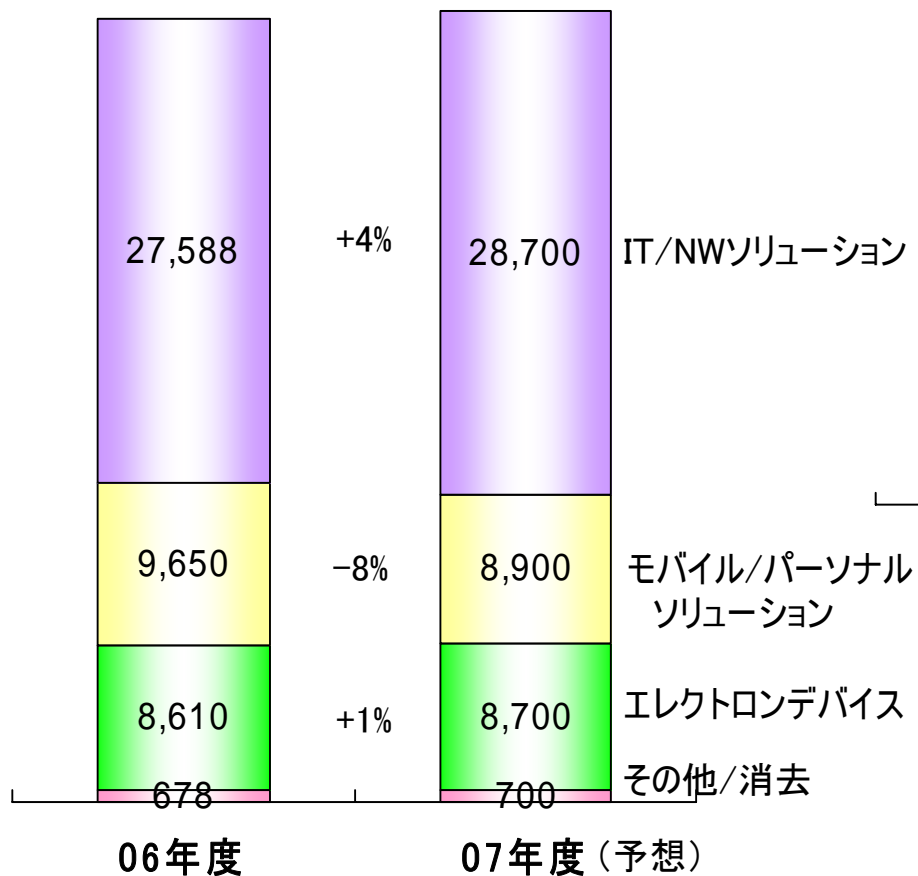
- ・NECグループ一体となった開発、生産の一層の効率化

07年度セグメント別予想

売上高

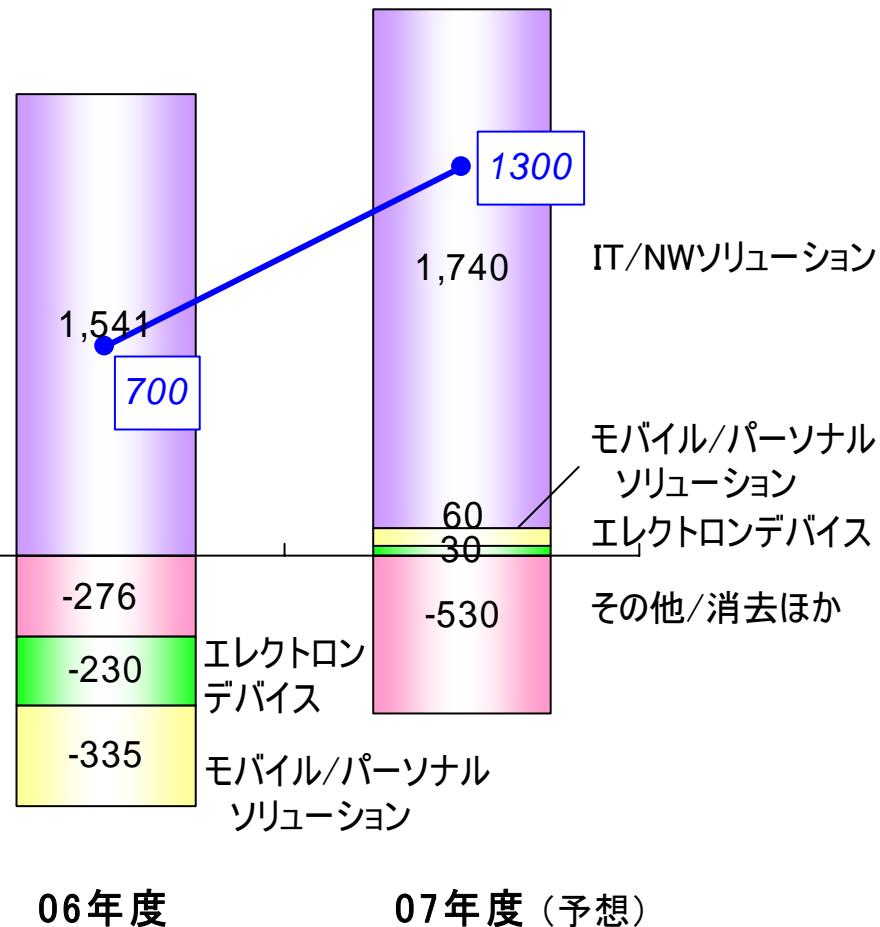
(億円)

46,526 $\xrightarrow{+1\%}$ 47,000



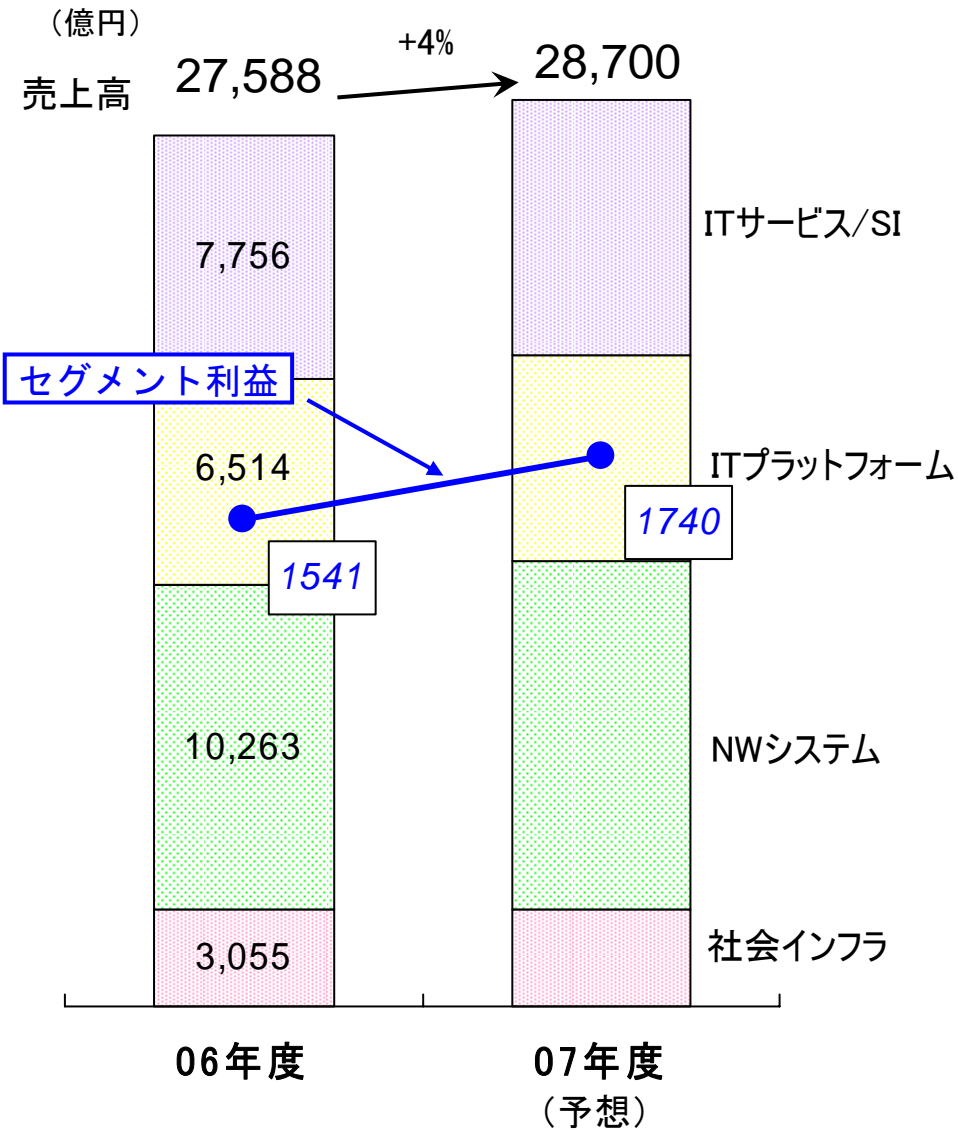
営業損益

(億円)



* 業績予想は07年5月21日現在

07年度IT/NWソリューション事業



■ITサービス/SI

- ・通信キャリア向けサービスプラットフォームや金融向けなどで着実な売上拡大を計画

■ITプラットフォーム

- ・厳しい価格下落の中、製品競争力（ストレージ、ミドルウェア、シンクライアント等）の強化と原価低減でほぼ前年並みを計画

■NWシステム

- ・国内：基地局投資は減少も、下期からNGN売上拡大目指す
- ・海外：パソリンクはトップシェアを目指し、さらなる伸長を計画

* 業績予想は07年5月21日現在

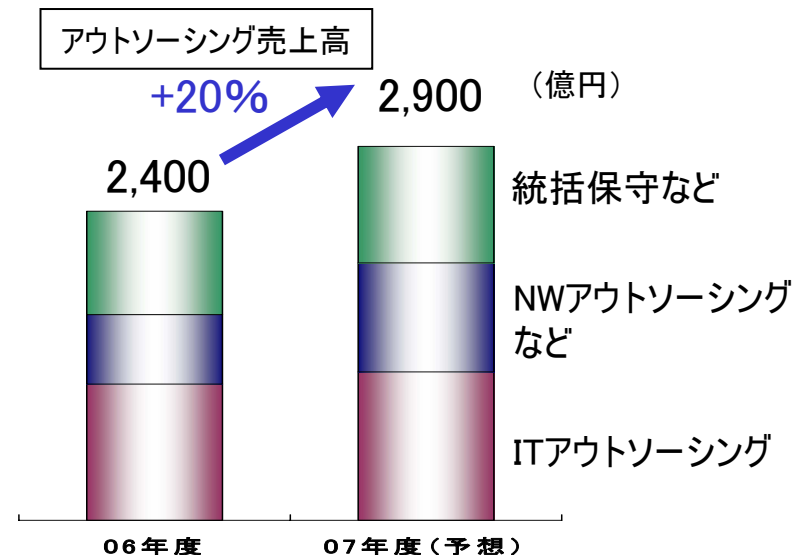
IT/NWソリューション事業の成長戦略

■NGN構築事業の拡大

- ・キャリアネットワーク事業の拡大に向け、グローバル競争力のある製品群の出荷
- ・NGN時代のIT/ネットワーク融合基盤、サービスプラットフォームの提供拡大
⇒2006年度売上高 約900億円から2007年度倍増を目標

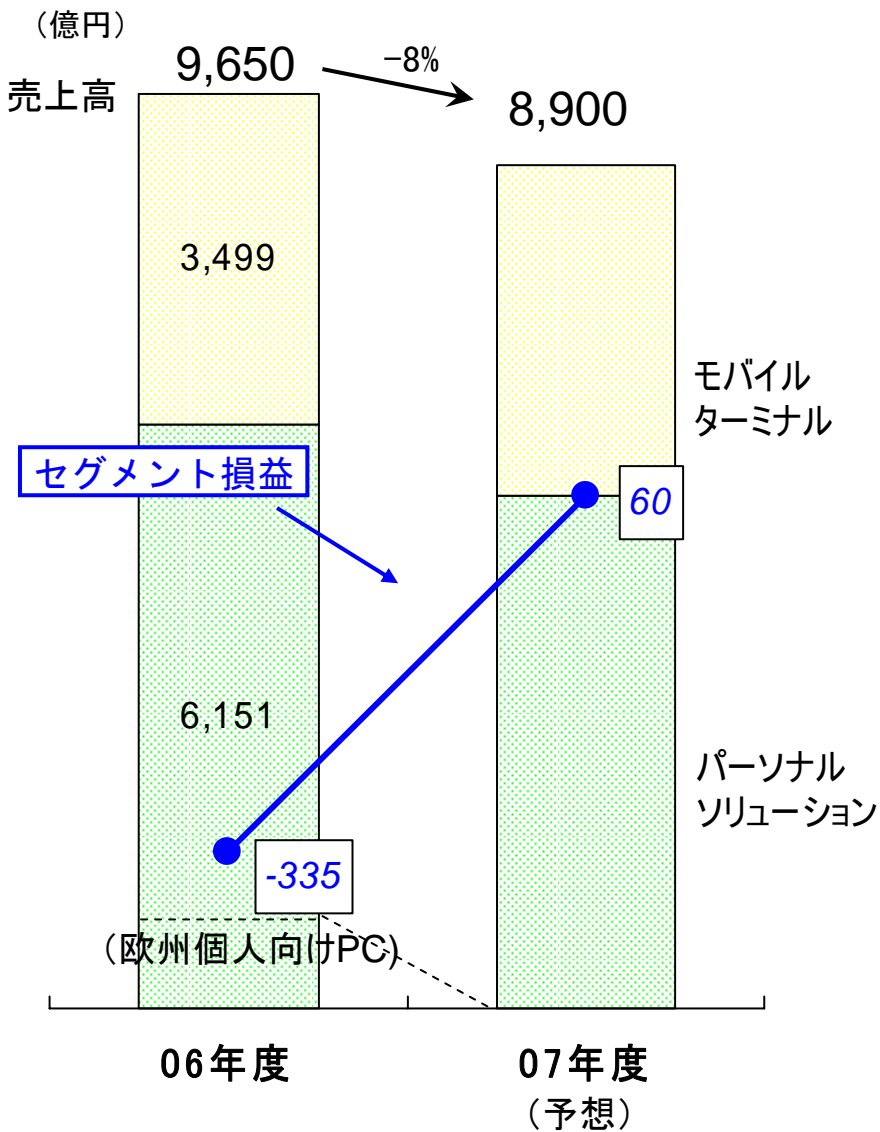
■NGNで活性化する市場の獲得

- ・ユビキタス時代の新サービス事業、基幹システム再構築事業の拡大
(映像関連、EC関連、ユビキタスソリューション関連・・・)
- ・アウトソーシング事業の拡大
 - ⇒SI/保守と連動したライフサイクル型アウトソーシングの拡充
 - ⇒ネットワーク技術力を活用したデータセンター統合運用の拡大



* 業績予想は07年5月21日現在

07年度モバイル/パーソナルソリューション事業



■モバイルターミナル

- ・黒字定着を目標
- ・出荷台数計画500万台強。国内に特化し、出荷回復へ



3インチワイドVGAの
イタリアデザインHSDPA機
N904i

■パーソナルソリューション

- ・黒字継続を目指す
- ・AV機能のさらなる強化や新コンセプト製品の投入で需要喚起を図る

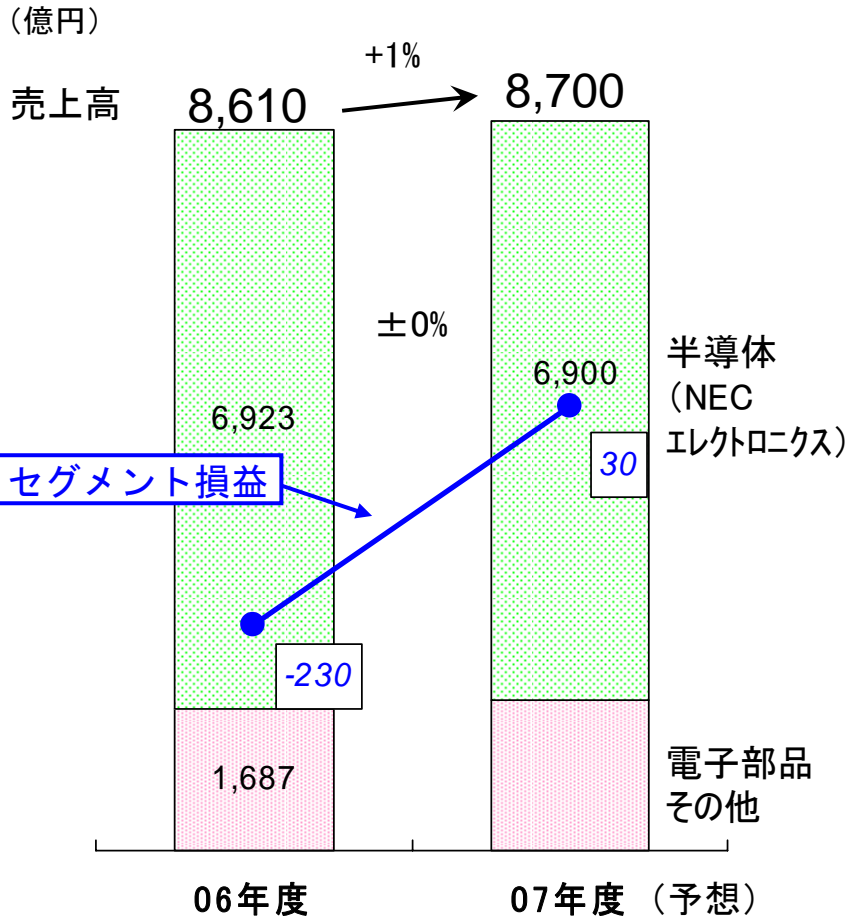


PCフリースタイル



* 業績予想は07年5月21日現在

07年度エレクトロニクス事業



■半導体

- ・受注残・受注高とも底打ち、06年度末から回復基調へ
- ・前年比▲200億円の固定費削減の着実な実行を含め、営業黒字化を必達

■電子部品その他:

- ・新製品の寄与などにより増収を計画
- ・産業用液晶は伸長を計画

(億円)	07/3 年間	08/3 予想
半導体営業損益 (NECエレクトロニクス)	-286	0

* 業績予想は07年5月21日現在

※注 半導体分野の業績は、NECエレクトロニクス㈱が米国会計基準に準拠した財務諸表を公表しているため、NECエレクトロニクスの公表値(米国会計基準)で表記しています。日本会計基準への修正による差異は、電子部品その他分野に含まれています。

Empowered by Innovation

NEC

セグメント別売上損益

(単位:億円)			05年度		06年度		07年度	
			上期	通期	上期	通期	上期	通期
			実績	実績	実績	実績	予想	予想
	ITサービス/SI	売上高	3,468	7,712	3,439	7,756	/	/
	プラットフォーム	売上高	3,111	6,836	3,125	6,514		
	NWシステム	売上高	4,674	9,929	4,852	10,263		
	社会インフラ	売上高	1,158	3,147	1,229	3,055		
IT/NWソリューション事業	売上高	12,411	27,624	12,645	27,588	12,600	28,700	
	営業損益	519	1,808	556	1,541	410	1,740	
	利益率	4.2%	6.5%	4.4%	5.6%	3.3%	6.1%	
Mターミナル パーソナル	売上高	2,190	4,809	1,631	3,499	/	/	
	売上高	3,610	7,694	3,359	6,151			
モバイル/パーソナル ソリューション事業	売上高	5,800	12,503	4,990	9,650	4,200	8,900	
	営業損益	-157	-553	-373	-335	0	60	
	利益率	-2.7%	-4.4%	-7.5%	-3.5%	0.0%	0.7%	
エレクトロニクス 事業	売上高	3,984	8,159	4,270	8,610	4,200	8,700	
	営業損益	-103	-308	-42	-230	-40	30	
	利益率	-2.6%	-3.8%	-1.0%	-2.7%	-1.0%	0.3%	
その他 / セグメント間消去他	売上高	642	1,014	311	678	500	700	
	営業損益	-208	-222	-66	-276	-220	-530	
合計	売上高	22,838	49,300	22,216	46,526	21,500	47,000	
	営業損益	50	725	75	700	150	1,300	
	利益率	0.2%	1.5%	0.3%	1.5%	0.7%	2.8%	

* 業績予想は07年5月21日現在